



# NIAふれあい掲示板NEWS

# 8月

2019年8月1日発行 Vol.83

習志野市国際交流協会 日本語教室部会

●NIAの予定 8月～10月● 事務局は、8月11日(日)から15日(木)までお休みです。

8月24日(土)	NIA ボランティア親睦会	時間：13:00～15:00	場所：6階 大会議室
8月24日(土)	日本語教室部会親睦会(夏祭り)	時間：16:00～20:00	場所：6階 大会議室
10月7日(月) 9日(水) 10日(木)	あすなろ会 華道体験教室	時間：11:00～12:00	場所：6階 NIA会議室

●学習者紹介● ①名前(学習曜日) ②出身国、都市 ③趣味 ④担当日本語ボランティア



- ① パンティット アディカリ シラ (水)
- ② ネパール、タナフ
- ③ 読書、旅行、歌
- ④ 清水 真由美



- ① 林 秋怡 (木)
- ② 中国、広東省、深洲
- ③ ガンダムの組立、デザート作り、水泳
- ④ 神山 博文



●七夕とスピーチ茶話会 7月1日(月)●

グエン ティ トウ ヒエン(月) ベトナム出身



7月7日は日本の七夕で、美しくロマンチックなお祭りです。私は2回目の参加でした。願い事を短冊に書いて、笹の小枝に吊るしました。私は、「今年中に日本語能力試験N2に受かりますように!」という願い事を短冊に書きました。

皆で「七夕さま」のうたを歌ってから、スピーチが始まりました。私は人参、大根、きゅうり、じゃがいもを使って作ったバラの花を持って来て、趣味について話しました。

他の学習者は、出身国の自慢や、趣味、日本語の勉強方法や人生について話されました。楽しいゲームで親睦を図り、最後に笹の葉をバックに古藤先生と写真を撮りました。



●市民まつり習志野きらっとに参加 7月14日(日)●

石井 美奈子 日本語ボランティア(月)



習志野市最大のイベントである習志野きらっとのメイン会場では、グルメ、バザー、子供広場などのコーナーがあり、子供たちはミニ電車に乗ったり、輪投げや金魚すくいをして楽しそうでした。通りでは山車、神輿、音頭、きらっとサンバなどのパレードが行われ、私はNIAの一員としてサンバダンスに仮装して参加しました。毎年恒例のパレードは、色々な団体がカラフルな衣装やユニフォームを着てサンバを踊ります。見ているだけでも楽しいのですが、初めての方でも簡単に踊ることができるので、皆さんも参加してみてください。私と同様に楽しい思い出になるとと思います。

●世界の料理教室 6月28日(金)●

塩野 ユカ 日本語ボランティア(水)



「房総の祭り寿司」を、田村睦子さんに教えていただきました。この寿司は冠婚葬祭などの時に、じもとひとたちをつくるそうです。献立は花の巻き寿司、白玉団子、おすましでした。巻きすに海苔、ハム、ピंकに着色し細かく等分した酢飯を乗せて巻きます。包丁



房総の祭り寿司

で切ると、綺麗なバラになっていて、本当に驚きました!一緒にテーブルで作っていたベトナムの学習者は、「バラのお寿司を食べるのがもったいない」と言って、食べるのを我慢していた様子が可愛かったです。

●日本語ボランティア研修会 7月17日(水)●

佐々木 藍子 日本語ボランティア(月)

千葉県国際交流センターの原恵子氏を講師にお招きし、「外国人相談窓口からみえること」をテーマに講義を受けました。外国人が日本で生活していく上で困っている事は、①言語の壁、②心の壁：生活習慣や文化が異なる為、日本の社会ルールに慣れるまでのストレス、③制度の壁：出身国と法律が異なることによる差別感、などが挙げられます。また家族同伴の入国者も多く、就学児童生徒の問題も負担になっています。日本人と外国人は、各国で制度が違う事をお互いに認識することが大事である、と思いました。担当幹事の皆さま、今までと視点を変えた講習会を開催してくださり、有難うございました。(参加者数：50名)

●私のふるさと自慢③● インド ムンバイ



メイハー ミリンド



ムンバイはインドの西海岸に面するインド最大の都市で、金融、商業、娯楽の中心です。仕事やチャンスを探求めて、インドの各地から沢山の人が集まって来るので、宗教や文化の多様性と貧富の差が大きいことが特徴です。



「ダッパワラー」と呼ばれるユニーク



インド最大のビジネス都市 ムンバイ 弁当を配達するダッパワラー

なお弁当の配達サービスが、ムンバイで100年前に始まりました。家庭で作った弁当を個別に集め勤務先のオフィスに届けるのですが、小さく塗られた色と数字だけで、時間通りに確実に配達されます。配達 違いは600万個に1つと言われている、ハーバード大学で研究されたり、BBCでキュメンタリー番組に取り上げられたりしました。

インドは世界で一番 祝祭日が多い国です。8月末から9月上旬の10日間、象の頭を持つ事で有名なヒンズー教の神様、「ガネーシャ(ガネーシュ)」の誕生を祝うガネーシャ祭りも、ムンバイで始まりました。大音響



ガネーシャ祭り

の太鼓の音が鳴り響き、ガネーシャ像と共に踊り歩いていく群衆の様子は、迫力があります。満月に当たる最終日に、像は川や海の水辺に静かに沈められます。(お祭りの様子はYouTubeで見ることが出来ます)

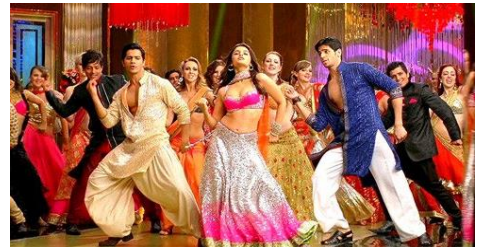
もう一つムンバイで始まったお祭りに、ココナッツ祭があります。これは主に漁師のお祭りで、3カ月の禁漁期間が終わり、新しい漁期が来たことを意味します。

ココナッツを海に捧げて、海の平穏と漁獲高が増えるように祈ります。私の父は漁師なので、毎年必ずこの儀式を行っています。



ココナッツを海に捧げる人

インドは映画製作本数や観客数とも世界一の映画大国なのをご存じですか？年間の製作本数はアメリカよりも多く、700本ほど作られています。ムンバイは映画産業の中心地で、ムンバイの旧名ボンベイとハリウッドをもじった「ボリウッド」と呼ばれています。音楽とダンスはインドの文化に欠かせないものであり、インドの映画はミュージカルのように、歌と踊りが特徴的です。



ボリウッド映画 インド人は歌と踊りが大好き!



\*ふれあい掲示板NEWS 9月号はお休みです。